

Co-Creation

with the community
2024

vol.09

CONTENTS

P1 学長挨拶 社会連携センター長挨拶

P2 【特集】新たな連携協定

【地域連携】

P3 福岡市 観光をテーマにしたPBL
福岡市 こども食堂

P4 古賀市 工場見学したいけんツアー
古賀市 高齢者へのメッセージカード
古賀市 古賀駅前におけるウォークアブル社会実験

P5 新宮町 楯の松原保全活動
新宮町 こども体験クラブ

P6 島原市 コミュニティバスEV化事業
篠栗町 こども野球教室

P7 公民館 東箱崎公民館ロボット体験
公民館 千早公民館スマホ教室

【大学連携】

P8 福岡未来創造プラットフォーム 商店街PBL
福岡未来創造プラットフォーム エンジニア天神クラス

P9 東部地域大学連携 放生会パトロール
東部地域大学連携 認知症に関する講座
東部地域大学連携 香椎駅防犯キャンペーン

【FITオープンカレッジ】

P10 FITオープンカレッジ概要

Co-Creation第9号 発行にあたって



福岡工業大学 学長
村山 理一

【学長挨拶】

福岡工業大学 社会連携センター広報紙「Co-Creation」をご覧いただき、誠にありがとうございます。

福岡工業大学では、社会の要請に応える教育・研究活動ならびに地域貢献活動が重要な使命だと考えています。このため、本学の社会連携センターを地域・社会と本学を繋ぐ交流拠点に位置づけ、地域貢献ならびに地域との共生、共創（Co-Creation）のために、本学の特色を活かした教育と地域貢献活動を推進しています。

現在、社会連携センターでは次の目標を掲げて、活動を広く展開しています。

大学連携の推進:

他の大学や教育機関との連携を通じて、教育・研究の高度化を図ります。

社会連携の推進:

地域社会や産業界との連携を通じて、地域・産業課題の解決を図ります。

資格取得支援:

学生や地域住民の資格ニーズを把握し、資格取得講座を提供します。

地域貢献活動:

地域のイベントやプロジェクトに参画し、地域社会との共生・共創に取り組むとともに、多世代に向けた生涯学習の機会を提供します。

本広報誌には標記目標にもとづいた2024年度の主な活動内容をご紹介します。内容をご覧いただき、本学の活動により一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【社会連携センター長挨拶】

本広報紙は、本学が地域社会と共に歩み、共に成長するための取り組みや成果を、広く皆様にお伝えすることを目的としています。

本学の学生・教職員が地域の皆様と協働し、多様なプロジェクトを通じて得た経験や成果を共有することで、より良い地域社会の実現に貢献できればと考えております。

本広報紙には、地域課題の解決に向けた取り組みや地域貢献イベントの報告など、具体的な活動内容を記載しております。これを通じて、地域の皆様との絆をさらに深めるとともに、共に新たな価値を創造することを目指して、引き続き力を尽くして参ります。

これからの皆様のさらなるご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



福岡工業大学 社会連携センター長
工学部 電子情報工学科 教授

松木 裕二

東京都立杉並工科高等学校 + 福岡工業大学

学校教育の振興と人材育成の寄与に関する高大連携協定

2024年9月27日、福岡工業大学にて東京都立杉並工科高等学校（東京都杉並区）と高大連携に関する協定を締結しました。

これは、学校教育の振興と人材育成に寄与することを目的としています。

東京都立杉並工科高等学校は、4月から「IT・環境科」をスタートされ今までの工業高校とは大きく異なり、大学進学を見据えたカリキュラムを構築されています。

この度の協定により、本学の専門分野を活かした学術的な連携・協力によって、教育活動のさらなる発展に寄与でき、また、教職員間の相互交流も視野に、本学の理工系人材に係る教育や学生支援の改善に協力をいただくことが期待されます。



学校法人東福岡学園 東福岡高等学校 + 福岡工業大学

デジタル人材の育成などを目指した高大連携協定

2025年1月30日、福岡工業大学において、本学と学校法人東福岡学園 東福岡高等学校は、数理・AI・データサイエンス教育など、確かな教養と専門知識、スキルを有する人材育成を目的とした高大連携協定を締結しました。

不足するデジタル人材の育成などを目指して、国の教育未来創造会議は大学・高専の理系専攻学生を32年度までに5割に引き上げる目標を掲げています。さらに、文科省は全国の高校約1000校をデジタル教育の拠点として「DXハイスクール」に指定し、指定校での理系学部への進学者を増やすことを目指しています。福岡工業大学と東福岡高等学校の連携協定は、こうした新たな社会的なニーズに対して両校が貢献していくためにデジタル時代に求められる教育を追求し、生徒の成長を実現することを目指しています。

本協定により、東福岡高等学校の「総合的な探究の時間」などにおいて本学教員が専門的な見地からの授業改善に向けた助言を行うほか、次世代のデジタル人材の育成を目指す両校の連携をさらに発展させていきます。



社会連携センターの役割

大学連携

福岡未来創造プラットフォーム
東部地域大学連携 など

地域連携

福岡市 古賀市
新宮町 島原市
篠栗町

その他の連携

福岡県警察
社会医療法人財団池友会福岡和白病院
株式会社 正興電機製作所 など

窓口として連携調整

各所属と協働

社会連携センター

福岡工業大学

生涯学習・学生支援

FITオープンカレッジ
資格支援講座

福岡市の観光について 課題解決策の提案



社会環境学科では、学生が地域社会をフィールドとして社会事象に対する多様なアプローチ方法を修得することを目的とした科目「フィールドワーク」を開講しています。今年は、福岡市経済観光文化局様と連携しコロナ後再び活性化しつつある観光をテーマに、授業を履修する3年生が観光都市としての福岡の問題解決について調査や分析に取り組んできました。

2024年9月18日、本PBLに参加した社会環境学科3年生10グループ(36名)がこれまで調査を行ってきた内容と各グループで設定したテーマに沿った問題解決の提案発表会を実施しました。

提案発表は、1班ごとに10分の発表と5分の質疑応答で進められ、学生たちは、太宰府天満宮内のごみの調査と削減に向けた提案や、柳川市の川下りの外国人対応についての提案、廃校をリノベーションした体験型宿泊施設の提案など、多角的な視点で観光に対する課題や解決方法の提案などを発表していました。

発表後の全体講評では、福岡市経済観光文化局の方から「班によってはよく半年でここまで調べられたと感心しました。7班の廃校跡地の活用について、福岡市では市内の小学校跡地にリッツカールトンを誘致するなどの活用などを年月をかけて考えて決定しています。今回の提案

は、学生とは思えないくらいの素晴らしい提案でした。」とお言葉をいただきました。

最後に指導教員の渡邉教授より、観光については経済的な影響があることを勉強し得るものは大きく、また福岡市の方にも携わっていただき貴重な経験ができたことと感謝のことがありました。(PBL：課題解決型学習)

こども食堂の運営をサポート



本学の学生が、こども食堂の運営にボランティアとして参加しています。

こども食堂とは、地域住民や自治体が主体となり、無料または低価格帯で地域の子ども達に

食事を提供し、居場所を提供するコミュニティです。こども食堂「アソシエキッズわひがのWA!」は、大学近くの高齢者福祉施設「アソシエ和」が毎月最終土曜日に開催しているもので、

高齢者とこども達とのふれあいの場にもなっています。

現在25名の学生が毎月交代で参加し、食事の配膳、受付、またその合間にこども達と遊んだり、高齢者の方々とお話をしたりして運営をサポートしています。

この活動を通じて、学生たちはコミュニケーション力を高め、地域社会とのつながりを深めています。こども達はここで安心して過ごすとともに、お年寄りとの交流や食を通して生きることの大切さを学んでおり、学生はそのサポートを通じて地域の課題やニーズを理解し、自分ごととして考えながら、学ぶ機会を得ています。

古賀市

情報マネジメント学科

課題解決型プロジェクト学習の一環として 地元企業の見学ツアーを企画・開催

必修科目
「システムマネジメントゼミナールⅡ」

本学学生17名



本学では地域をフィールドに課題解決型プロジェクト学習を実践しています。本活動の一環として、学生が工場見学したいけんツアーの企画運営に取り組みました。

本学と包括的連携協定を結ぶ古賀市では、毎年古賀市内の企業と協力して子供向けの工場体験「工場見学したいけんツアー」を開催しています。ツアーはこし12回目を迎えており、本学から、企業連携型の課題解決学習の一環として情報工学部システムマネジメント学科*の3年生17人がこの取り組みの企画・運営に参加しました。

2024年8月8日、晴天の中、第12回古賀モノづくり博「工場見学・体験教室」工場見学したいけんツアーを開催しました。今回の工場見学ツアーでは、古賀市に事業所を置く食品系や工業系、運送系など8社の企業に古賀市の小・中学生

46名が訪れて、会社の説明を受けたり、工場内でのモノづくり見学・体験を楽しんだりし、最後に各グループの子供達による振り返りのワークと発表がありました。

ツアーを終えた小中学生の発表では「工場見学をして、古賀市は良いところだということが分かった」、「苦手な野菜でもビエトロドレッシングをかけてただでおいしく感じてすごいと思った」、「レーザー加工でこんなに細かく加工できることにびっくりした」、「乗り物がどのように作られるのかが興味があったので今回知れてとてもよかった」と、自分たちが住むまちの企業を実際に見て、多くの発見や驚きを感じている様子が報告されていました。

※システムマネジメント学科は、2024年度より情報マネジメント学科に改組

古賀市

福岡工業大学

高齢者に手書きメッセージカードを贈呈

課外活動

本学学生55名



福岡工業大学と福岡県古賀市は、まちづくり推進や学術振興などを目的に2014年に包括的連携協定を締結し、産業振興や介護予防など様々な連携事業を展開しています。

今年も、9月16日の敬老の日を前に、カードを通じて高齢者に大学生のメッセージと共に介護予防につながる情報をお届けする取り組みを実施しました。

身体活動を通じた介護予防を専門とする本学教養力育成センターの嵯崎教授・ウェルネス研究センターと、古賀市健康介護課地域活動サポートセンター「ゆい」との共同事業の一環で、介護予防・健康促進に関する情報が記載されたカードに、学生たちが高齢者に元気に過ごしてもらいたい想いを手書きのイラストやメッセージに込めて作成しました。

本活動には、本学の吹奏楽団メンバーをはじ

め55名の学生が参加し、作成した560枚のカードを2024年9月13日に古賀市健康介護課と古賀市シニアクラブ連合会へ贈呈しました。

贈呈したメッセージカードは、古賀市の健康イベント等に参加された方に配布されます。

古賀市健康介護課さまから

このカードは、古賀市の介護予防イベントで配布しています。一枚一枚丁寧に書かれているメッセージカードを手にした方々からは、自然と笑みがこぼれています。

大学生がメッセージを送ることが、市の高齢者の誰かの元気につながっていることを実感しています。

古賀市

社会環境学科

ウォーカブル社会実験に参加

課外活動

本学学生26名



福岡工業大学と古賀市はまちづくり推進や学術振興などを目的に2014年に包括的連携協定を締結し、産業振興や防災などについて様々な連携事業を展開しています。

古賀市では、JR古賀駅周辺を「居心地が良く歩きたくなるまちなか」と整備していくために、「ウォーカブル推進都市」(国土交通省政策)を宣言し、まちづくりを推進しています。

2024年度、事業の一環として古賀駅周辺エリアにおいて回遊性や滞留性の向上を図り、居心地が良く歩きたくなるまちなかとすることを目的に民間事業者を主体とした「ウォーカブル社会実験」が実施され、本学社会環境学科 上杉研究室に所属の2年生から4年生の学生達延べ26名が歩行者調査やアンケート調査に協力しました。

本社会実験は、古賀駅周辺にたくさんの人たちが集い、楽しむ場所にしたいとの願いから「古賀駅前まるごと遊び場プロジェクト」と称され、今年は夜市等の街歩きや音楽フェスなど4回のイベント

が開催されました。イベント時にどの道に歩行者がどのくらい増えたのか影響を調査しており、学生たちが各イベント時に歩行者調査やアンケート調査に協力し、そこで得られた情報を古賀市へフィードバックしました。また、古賀市と連携した社会実験に関連して、所管部署である古賀駅周辺開発推進課のご担当者様及び古賀駅周辺の街路空間解析調査に携わる民間事業者様の特別講義を受講し、古賀駅西口の現状や今後の展望とまちづくりに重要な調査手法について理解を深めました。

学生たちは、自治体による地域社会の課題解決を目指した社会実験に参加することで、社会問題の複雑さや課題解決における協力の重要性を学び、また地域への理解と関わりを深める貴重な体験を得ることができました。

本学は今後も地域社会と連携し、学生たちが地域との交流を深め、地域社会の一員として成長できるような機会を提供し、住みやすいまちづくりに共創して参ります。

楯の松原を整備、清掃

課外活動

本学学生98名



き、少しでも貢献できました。参加した強化部の学生からは「毎年このように清掃活動を行っている人がいるため海岸の環境が守られているということを再認識できた」という声や「地域の方々や様々な人に改めて感謝をしていかないといけない」という声を聞くことができました。

ゴミの数が0にならないのは、ゴミを捨てないという当たり前のことができていない人がいるためであり、一人一人が意識を変えていかないと無くなるとの声も聞かれました。

このような清掃活動には今後も参加を行い、ゴミのない街づくりに少しでも貢献していきたいと思います。

2024年6月15日に新宮町の地域環境美化活動の一環として開催された「楯の松原保全活動」という清掃ボランティア活動に本学の強化指定部からラグビー部45名、女子柔道部4名、硬式野球部49名の計98名が参加しました。この活動は防風林となっている楯の松原を保全する目的として実施されております。

学生は7月からの海開きに備え午前9時から約1時間程度海岸清掃を担当しました。

清掃活動中は地域の方々にあいさつなどのコミュニケーションを取りながら行い、全体で、たくさんのゴミを集めることができたとのことです。地域の方によると去年と比べゴミの量は減っており、改善傾向にあるという話を聞くことがで

こども体験クラブの運営をサポート

課外活動

本学学生20名



12月7日～12月8日
社会教育総合センター（篠栗町）での火起こし体験など

本学の学生は、自然の危険性やその美しさ、恩恵に対する興味を育て自然保護の心を培う活動や、仲間と寝食をともにしに行き集団活動でのルールを学び親交を深める活動など、様々な活動を子どもたちと一緒に体験することにより、子どもたちの成長のサポートができたと思います。

新宮町では町内の小学生を対象にこどもたちに不足している自然体験・野外活動の機会を設け集団生活や遊びのノウハウを学び個々の成長につなげることを目的とした活動を実施しています。その活動に本学の延べ学生20名が参加してサポートを行いました。

以下はその活動場所と内容です。

5月11日
立花山（新宮町）での自然体験、歴史見学など

8月6日～7日
玄海の家（宗像市）での海水浴、天体観測など

10月19日～20日
背振少年自然の家（福岡市）での野外調理など

島田市

情報マネジメント学科
社会環境学科

EV車両の走行実験を行い調査、分析

課外活動

本学学生14名



福岡工業大学と長崎県島原市は、まちづくり推進や学術振興などを目的に包括的連携協定を締結し、産業振興や防災などについて様々な連携事業を展開しています。

島原市では、これまで10人乗りのガソリン車を用いてフルデマンド型の乗り合いタクシー「たしる号」を運行してきました。しかし、利用者の高齢化やバス路線の減便・廃止などで交通手段が縮小し、需要が増加しています。そのため、燃料費や二酸化炭素排出が増大し、持続可能な運行を行っていく上でこれらの削減が大きな課題と

なっていました。

そこで今回、国交省の「共創・MaaSモデル実証プロジェクト」の支援を受け、コンバートEV車両が導入されました。走行やバッテリー使用量などのデータを収集し、燃費の比較や脱炭素を見据えた排出額削減効果の分析を行い、適正な運行形態を検証する実証実験が始まっており、本学は情報マネジメント学科 宋教授、社会環境学科の上杉准教授が中心となり、これらの測定結果の分析を行います。

11月1日、島原市においてこのプロジェクトの

出発式が行われました。

11月4日、5日には宋教授、上杉准教授と上杉研究室の学生14名でEV車両の走行実証実験を行い、乗車人数の違いや車内のヒーターON・OFF、傾斜路、平たん路によるバッテリー消費量の計測を行いました。今後は車載しているデータロガーのログを解析し、経路とバッテリー消費量の関係性や最適な経路の検討、CO₂削減効果などを調査・分析していきます。

篠栗町

硬式野球部

こどもたちに野球教室を企画、開催

課外活動

本学学生48名



つける機会となり、相互の成長に貢献しました。

今後も小学生が楽しんでくれるような野球教室を開催していきます。

2025年2月8日、本学硬式野球部は、塩浜総合グラウンド(FITスタジアム)において、本学と包括連携協定を締結している篠栗町の少年野球クラブの小学生を対象に野球教室を実施しました。

今回は、篠栗町の少年野球チーム(尾仲ファイターズ・篠栗北ジュニアスターズ・篠栗イーグルス・勢門ベアーズ)の小学生46名とFITジュニア小学部の14名を招待し行われ、学生48名が参加しました。

まずは、大学生が普段行っているメニューを小学生に体験してもらいました。ストレッチから始まり、バーピージャンプや30Mダッシュなど、寒さを考慮して入念に体を動かしました。その後室内練習場では、様々なバッティング練習や大学生が投げたボールを取る守備練習が行われました。

また、ソフトボールを的に見立ててボールを投

げて当てるストラックアウトや、スピードガンを用いた球速計測も実施されました。

閉会式時には質問コーナーが設けられ、小学生から「球が速くなる方法は?」や「速くに飛ばす方法は?」などの質問が飛び交いました。

学生からは「お父さん、お母さんのいうことをよく聞く」、「キャッチボールで腕をよく振って強いボールを心がける」、「家に帰って素振りをする」などのアドバイスがありました。

メニューを行うなかで学生は小学生に対して積極的にアドバイスや声かけをし、小学生も終始楽しそうに活動していました。

小学生には野球教室を通じて、野球の楽しさ・素晴らしさを理解してもらい、学生にとっては野球の指導を通じてコミュニケーション能力やイメージの言語化など、社会で必要となる力を身に

主将の竹之内優汰さん
(社会環境学科3年)のコメント

小学生に怪我なく楽しんでもらうため、まずは私たち自身が明るく元気に取り組みました。また、基礎を教えつつ、楽しめるメニューを工夫し、小学生と一緒に取り組みながらアドバイスをしました。私たち大学生も、基本技術の大切さや野球の楽しさを改めて実感する機会となりました。

この野球教室を通じて、参加してくれた小学生がさらに野球を好きになり、これからも続けてくれることを願っています。

東箱崎公民館

モノづくりセンター

こどもたちにロボット操作体験と アクセサリ作成体験を実施

課外活動

本学学生15名



2024年8月20日、夏休み中の東箱崎校区の小学生15名と引率者3名が、東部地域大学連携で各公民館の要望に応える活動の一つとして、本学でロボットの体験学習などを行い、モノづくりセンターに来学しました。

東箱崎公民館の公民館寺子屋活動の一つとして行われたこの体験学習のテーマは「ロボット操作体験とモノづくり」です。モノづくりセンター施設の紹介のあと、小学生は2手に分かれて、二足歩行ロボット、ロボットアームなどを体験しました。最初は緊張気味だった小学生も実際にロボットに触れると、楽しそうにロボット操作など

を行っていました。その後、交替で学生のサポートのもと、レジンアクセサリを製作しました。ペースに様々な装飾物を置いてレジンで固めるという細かな作業でしたが、皆さん熱心に取り組み、手作りアクセサリの完成に喜んでいました。ロボット体験後には学食で食事をし、全体を通して貴重な体験ができたこと好評でした。サポートはi-STEAM*教育教材プロジェクト、モノづくりセンタープロジェクト、下戸研究室の学生15名が担当し、親切に指導に取り組みました。

福岡工業大学は、今後も近隣地域のニーズにこたえ、地域貢献に取り組んで参ります。

※「i-STEAM」とは、本学の学びの特色の一つでもあるinformation(情報)をSTEAM教育(科学・技術・工学・芸術・教養・数学の総合的な学びを重視する教育)に加えたもの。学生が本学で修得した学術的情報を基にして、中高生と相互作用(interaction)しながら、独自のSTEAM教材を創造(innovation)するということも含んでおり、選抜された学生が主体的に教育活動を実施。(アドバイザー:情報システム工学科 下戸准教授)

千早公民館

福岡工業大学

高齢者にマンツーマンで スマホやラインの使い方を指導

課外活動

本学学生14名



2024年8月22日、24日、27日の3日間、福岡市東区の千早公民館において、本学の学生14名が高齢者の方に通信アプリ「LINE」の活用を促す「スマホ教室」を開催しました。

安否確認や情報伝達のため、一人暮らしの高齢者がスマホを使えるようになることを目指した公民館の発案に対し、スマホ教室を行った経験のある情報工学科の2年生が中心となり講座を

開催しました。

打合せを経て、講座は3部構成(1部60分)とし、第1部はスマホの使い方など基礎的なこと、第2部ではLINEについて、第3部ではおさらいと質問という内容で、参加者がLINEを使えるようになることを目標にレクチャーしました。講座には60代から80代の延べ42名に参加いただき、学生たちはスマホの使い方や活用例を笑顔



で丁寧に説明し、参加者と学生との交流を交えながらの楽しいスマホ教室となりました。講座は学生たちが参加者一人ひとりに対応するマンツーマン方式で進行し、資料作成、説明などすべて学生主体で実施しました。

受講した参加者からは「分からないところも優しく丁寧に説明してもらって理解することができ、楽しかった」、「大学生と交流できて良かった」といった声が聞かれました。

企画した学生メンバーからは「楽しく教えることができた」、「高齢者の方々と関わる良い機会となった」などの感想が上がり、学生にとっては実社会での体験を通した良い学びの機会となりました。

今後も本学は地域貢献を学生の学びの場ととらえ、様々な活動を支援してまいります。

福岡未来創造
プラットフォーム知恵を絞り香椎商店街の
活性化を目指して活動

課外活動

本学学生3名

福岡未来創造
プラットフォーム田嶋帆奈美さん
(情報マネジメント学科1年)
のコメント

募集を見て、「おもしろそう!」と思い応募しました。

私は「ハロウィンブース」の「子どものお店屋さん体験」に参加しました。

他大学の学生とZOOM会議を行い企画から考え準備した期間は文化祭の準備をしているようで、とても楽しかったです。また、リーダーとして企画を進める大変さを知り、これからの課題を見つけることができました。

この経験を活かし、大学の学びや将来につなげていきたいです。



福岡都市圏の13大学、福岡市、産業界による産官学連携の「福岡未来創造プラットフォーム」では、地域貢献活動を通じた学生交流を目的に学生ネットワーク構築事業に取り組んでいます。

その中の一つの活動に商店街PBL(課題解決型学習)があります。これは、商店街活性化を

テーマに香椎商工連盟の若手リーダーと共にと力を合わせて実施してきた活動ですが、7大学24名の大学生が応募して、香椎商店街の活性化に取り組みしました。

その一環として、2024年10月14日に開催された「香椎勝負まつり」には、23名が参加して

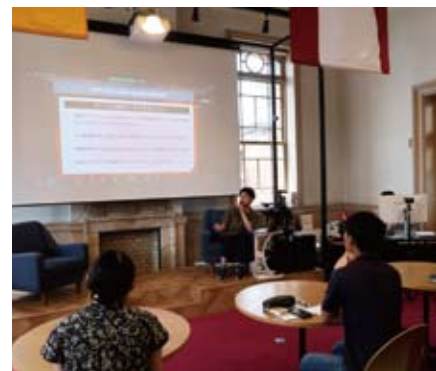
学生企画のブースを出展しました。商品の委託販売、段ボールフリスビー、ハロウィンフォトブース、Instagramによる広報活動を行い、子どもを中心に多くの来場者でにぎわい、商店街の活性化に一役買いました。

福岡未来創造
プラットフォーム

エンジニア天神クラスに参加

課外活動

本学学生25名

福岡未来創造
プラットフォーム

8月、12月、2月に、福岡都市圏13大学が加盟する福岡未来創造プラットフォーム(PF)とエンジニアカフェ(福岡市天神1-15-30)が共同でデジタル人材育成プログラム『エンジニア天神クラス』を開講しました。

福岡市の中心部にある歴史的な建物である福岡市赤煉瓦文化館内のエンジニアカフェにて、8月には文系出身若手エンジニアを講師に迎えてキャリアについての話を聞く内容、12月にはAIを利用した実践型講座、2月にはXR体験セミナーを行いました。

講座のあとには講師の方を交えて交流の機会もあり、大学生にとっては貴重な機会になったと思います。

社会全体のデジタル化・DXの推進が求められる中、エンジニアをはじめとするデジタル人材の育成が急務となっています。大学においては、数理・AI・データサイエンス教育プログラムの導入が進むなど、今後、デジタルやデータを扱う能力

を育成するカリキュラムの構築が拡大していくことが想定されます。

そこで、この変化の激しい時代に対応できるよう、学生の情報リテラシーの向上を図り、デジタル系キャリア選択のきっかけを提供するため、

東警察署と 放生会会場周辺をパトロール

課外活動

本学学生10名



福岡県東部地域に位置する福岡工業大学、福岡女子大学、九州産業大学の3大学は「東部地域大学連携」を結成し、教育・研究活動全般における交流および連携を推進し、主に地域社会に寄与することを目的に活動しています。

2024年9月17日、筥崎宮放生会で行われた「東区合同防犯パトロール」に、東部地域大学連

携の学生懇話会メンバーを含む学生たちが参加しました。このパトロールは、放生会の安全を守るために地域住民が中心となって行っている歴史ある防犯活動です。

東部地域大学連携も、福岡東警察署と東福岡防犯協会の協力要請を受け、学生懇話会の地域貢献活動の一環として参加しています。



本学からは「地域の皆さんの安全のために役に立ちたい」と、学生自治会の5名と有志5名が参加しました。東福岡防犯協会長、福岡東警察署による出発の挨拶に続き、筥崎宮本殿の参道から脇道を往復し、他大学メンバーとの交流を深めながら約30分の防犯パトロールを行いました。

主催者からは暑い中での学生達の協力に対して、感謝の言葉が寄せられました。

東部地域大学連携の学生懇話会では、今後も地域の防犯活動に積極的に参加していきます。

※放生会は福岡市東区の筥崎宮で毎年9月12日から9月18日まで開催される祭りで多くの露店が出てたくさんの人でにぎわいます。

認知症講座に参加

課外活動

本学学生9名



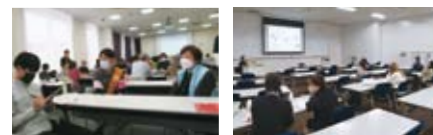
2021年度より東部地域大学連携では、若年層に対する認知症への理解を深める取り組みとして、東区役所地域保健福祉課が進める「東区認知症に優しいまちづくり事業」に協力をしています。

まず、2024年10月23日に本学で「認知症サポーター養成講座」があり、学生7名と職員5名が受講しました。

また、2024年11月9日に福岡女子大キャンパスにて「認知症声掛け訓練」が行われました。

これは、「認知症サポーター養成講座」を受講した学生などが集まり、講座で学んだ知識・手法をもとに実際に認知症役を演じるスタッフ（市内

介護事業者など）に対して声を掛ける練習を行うものでした。今回は香住丘校区の皆さんと実施し、東部地域大学連携の学生さんや地域の方が、スタッフが扮したいろいろな設定の認知症役の方に交替で話しかける練習を行い、最後に感想などを皆さんで共有しました。本学からは学生2名職員2名が参加しました。



香椎駅で防犯キャンペーン

課外活動

本学学生3名



12月4日17時30分からJR香椎駅において「犯罪防止キャンペーン」が行われ、本学学生3名が参加しました。

これは、福岡県東警察署の犯罪防止キャンペーンに福岡工業大学、九州産業大学、福岡女子大学の東部地域大学連携「みんなの防犯会」が参加するかたちで、九州産業大学、福岡女子大学の学生と共に性犯罪防止の啓発グッズの配布などを行ったものです。

福岡県では様々な犯罪被害が多発しており、駅を利用する市民を中心にグッズの配布、声かけを行うことにより、一層の防犯意識の高揚を図る目的で実施されました。

参加学生たちは東警察署の方の指導の下、グッズを渡すタイミングをはかりながら、駅を行

きかう方々に防犯意識を高める声かけを行い、用意されていた啓発グッズを配布しました。

東部地域大学連携では「みんなの防犯会」の活動を引き続きサポートしていきます。



FITオープンカレッジ2024概要

文化教養講座(前期・後期)

講 座 名			受講数	講 座 名			受講数	講 座 名			受講数
語 学	1	英会話・Intermediate I	233	教 養	1	美文字講座	245	手 作 り	1	スタンドグラス	58
	2	英会話・Intermediate II			2	俳句(水曜) [山本先生]			2	シルバークレイ	
	3	スキルアップ英会話			3	俳句(木曜) [田中先生]			3	ポリクレイ	
	4	おもてなし英会話			4	葎ペンでスケッチ!(火曜)			4	フラワーペインティング	
	5	中国語講座[青山先生]			5	葎ペンでスケッチ!(土曜)		運 動	1	リラックス&デトックスヨガ	193
	6	韓国語 入門2 [金先生]			6	花教室(基本) 12:50～(前期のみ)			2	ヨガー 毎日をイキイキとー	
	7	韓国語 初級 [金先生]			7	花教室(トレント) 14:30～			3	アイアンガーヨガ	
	8	韓国語 初級 [慎先生]			8	絵はがき・水彩画・油彩画教室			4	ロコモ・メタボ予防体操コース	
	9	韓国語 中級 [慎先生]			9	絵画教室・あとリエ(午前)			5	気分そう快!! いきいき体操	
	10	韓国語 上級 [慎先生]			10	絵画教室・あとリエ(午後)			6	身体メンテナンス体操	
	11	韓国語 フリーターキング [慎先生]			11	詩吟(前期のみ)			7	健身太極拳 初級	
					12	フルート教室A ①～⑧			8	大人ののための楽しむバレエ	
					13	フルート教室B ①～⑧			9	リフレッシュ・フラ 初級	
総計：729											

FIT講座(本学教職員による講座)

講 座 名		受講数
1	気温上昇を抑えるために家庭でできることを考えよう	377
2	地域の災害リスクを知ろう!	
3	動画編集講座	
4	Excel活用講座	
5	画像編集講座	
6	日常的に防災を意識する仕組みづくり	
7~11	孔子の『論語』、佐藤一斎の『言志四録』、貝原益軒の『大和俗訓』に学ぶ人間の在り方生き方講座(第1回~5回)	
12	国際日本学の探求 - 夏目漱石・翻訳・日本語教育 -	

1日集中講座

講 座 名		受講数
1	『災害とボランティア』~災害時に地域やボランティアでできる事~	156
2	『自衛官だから伝えられる能登半島地震と災害への備え』	
3	変形性膝・股関節症~いい靴の選び方~	
4	ストップ・ザ・心筋梗塞	

FITオープンカレッジ
ホームページ▶



資格取得支援講座
ホームページ▶



2024年度 資格支援講座

講 座 名			受講数	講 座 名			受講数
情 報 系	1	MOS Word 2019 【6月試験対策】※	185	語 学 系	1・2	スタディサプリENGLISH TOEIC® L&R TEST対策コース ベーシックプラン・コーチプラン 【12月テスト対策】	34
	2	MOS Excel 2019 【7月試験対策】※		ビ ジ ネ ス 系	1	統計検定3級 ※	51
	3	MOS PowerPoint 2019 【12月試験対策】※			2	統計検定2級 ※	
	4	ITパスポート 対面コース 【12月試験対策】※			3	リテールマーケティング(販売士)3級 【7月試験対策】	
	5	ITパスポート eラーニングコース ※			4	リテールマーケティング(販売士)2級 科目免除対策 【9月試験対策】	
	6	基本情報技術者 科目A試験免除対策 ※ (2024.4月スタートクラス)		就 職 対 策	1・2	SPI就職試験対策 10月クラス、2025.1月クラス	197
	7	基本情報技術者試験 【9月試験対策】			3	公務員 入門コース ※2年生対象	
	8	Webクリエイター能力認定試験(エキスパート) ※ 【12月試験対策】			4・5	公務員 教養試験対策コース、 行政・事務職専門科目オンライン講座 ※3年生対象	
	9	Unity認定試験(認定アソシエイト：ゲーム開発者) ※ 【12月試験対策】		そ の 他		(通学) 宅地建物取引士	2
総計：469							

※: 一般受講可

2024年度 主な活動一覧

4月	●古賀市「学童保育所補助指導員」各月 ●本学「学術支援機構説明会」 ●古賀市「企業の課題解決をテーマとしたシステムマネジメント学科PBL」 ●古賀市「プラズマを用いたトウモロコシの実証実験」4月～6月	●福岡市「放課後児童クラブ補助指導員」各月 ●福岡市「福岡県の観光振興をテーマとした社会環境学科PBL」 ●福岡市「わひがのWaこども食堂ボランティア」各月 ●福岡市「第29回東区花火大会運営設営と清掃活動」
5月	●福岡市「学生サポーター」各月 ●新宮町「子ども体験クラブ」5月・10月・12月 ●コミセンわじろ GO!GO!えんにち!	●東部地域大学連携「どんたく港まつり東区演舞台」 ●篠栗町「連携協議会」
6月	●新宮町「新中PLUS ONE」6月～2月 ●新宮町「楯の松原保全活動」 ●東部地域大学連携「第1回学生懇話会」 ●青葉中学校 モノづくり体験	●福岡市「福岡グローバルMICEスクール」各月 ●福岡市「ラブアース・クリーンアップ2024塩浜」 ●コミセンわじろ わじろ地域大学
7月	●新宮町「ひがし塾」7月～3月 ●新宮町「寺子屋見守りボランティア」7月～8月 ●古賀市「古賀駅前におけるウォークアブル社会実験」7月・9月・10月・12月 ●古賀市「連携協議会」 ●古賀中学校 モノづくり体験	●和白東公民館「夏休み学習」7月～8月 ●古賀市「高齢者メッセージカード」7月～8月
8月	●福岡未来創造プラットフォーム「商店街PBLの活動」8月～11月 ●新宮町「寺子屋見守りボランティア」 ●千早公民館「スマホ教室」 ●和白東公民館「プログラミング教室」 ●福岡未来創造プラットフォーム「エンジニア天神クラス」8月・12月・2月 ●サステナブルサイエンス 田島先生・中村先生・五十嵐美樹先生による講座と実験および女子学生と座談会 ●サイエンスフェスタ 2024 in FIT ●福岡市郷育カレッジ	●古賀市「工場したいけんツアー」 ●東箱崎公民館「ロボット体験」 ●新宮町「サマーキャンプ」 ●地域創成PBL モノづくり体験
9月	●福岡未来創造プラットフォーム「下町ロケットのモデル 植松社長の講演会」 ●東部地域大学連携「放生会防犯パトロール」 ●高校「杉並工科高校との連携協定」 ●古賀北中学校 モノづくり体験 ●和白丘中学校 職場体験 ●ふくおかまち育ミライ(福岡市役所でのロボット体験)	●福岡市「キッザニア福岡学生限定デー」 ●福岡市「観光PBL提案発表会」 ●横手中学校 モノづくり体験 ●新宮中学校 職場体験
10月	●和白5校区など「令和6年度キャンパスサミット」 ●東部地域大学連携「東区芸術文化祭合同作品展」 ●東部地域大学連携「認知症サポーター養成講座」 ●福岡未来創造プラットフォーム「第3回サイバー大学 IT・ビジネスセミナー」 ●和白東公民館「和白東校区秋祭り」	
11月	●島原市「EV車両の走行実験」 ●東部地域大学連携「認知症声掛け訓練」 ●新宮東小学校 施設見学 ●古賀市わくわくフェスタ	●福岡市「福岡サロン」 ●新宮町「図書館プログラミング講座」 ●東区こども青少年文化祭ユースフェスタ・ひがし2024
12月	●東部地域大学連携「香椎駅防犯キャンペーン」 ●第14回みんなの科学広場 in 唐津	●東部地域大学連携「サンタウォークin千早」
1月	●高校「東福岡高校との連携協定」 ●東部地域大学連携「第2回学生懇話会」(書面会議)	●東部地域大学連携「千早防犯パトロール」 ●福岡市「福岡の環境みらいづくりワークショップ」
2月	●福岡市「FUKUOKA SOCIAL START UP ACADEMY」 ●新宮町「連携協議会」 ●新宮町「立花小学校・相島小学校ICT授業」 ●大野城市月の浦小学校ランドセルクラブ ロボット体験 ●相島小学校 ネームプレート製作 ●第12回こみせんまつり	●篠栗町「こども野球教室」 ●古賀市「朝活イベント」 ●那珂川市「岩戸北小学校ICT授業」 ●立花小学校 ロボット体験 ●岩戸小学校 糸電話製作
3月	●東部地域大学連携「連携推進協議会」(書面会議) ●東部地域大学連携「学長懇話会」(書面会議) ●福岡市「GFF AWARD 2025」(ゲームコンテスト)	

●モノづくりセンターの活動